

血液検査項目のご案内

2016年3月改訂

1. 本案内に記載した基準値は、神鋼記念病院で使用している値です。
2. 基準値は、他の医療機関と異なる場合があります。
3. 血液検査の結果は、年齢・性別・食事・運動などで異なる場合があります。
4. 検査結果の詳細は、直接担当医にお尋ねください。




 社会医療法人神鋼記念会 SHINKO HOSPITAL
 神鋼記念病院

検査項目(日本語訳)	基準値	単位	説明
尿一般	pH	5.0-8.0	体液の酸度調節を反映して各種疾患で変動します。
	糖	(-)	糖尿病など高血糖を起こす疾患や腎機能障害などで陽性となります。
	蛋白	(-)	腎泌尿器系疾患の検査です。
	潜血	(-)	尿路系の炎症、結石、腫瘍、糸球体腎炎などで陽性となります。
	ケトン	(-)	糖尿病患者の高血糖状態におけるケトアシドーシス、飢餓状態時で陽性となります。
	ビリルビン	(-)	閉塞性黄疸や他の黄疸を伴う肝・胆管疾患の検査です。
	ウロビリノゲン	(±)	閉塞性黄疸で陰性。肝疾患、溶血性貧血で陽性となります。
	亜硝酸塩	(-)	尿中の細菌の有無を検査します。
	白血球	(-)	膀胱炎、尿道炎などの尿路感染症や腎炎ネフローゼ症候群などで陽性となります。
	尿比重	1.002-1.030	
尿沈渣	赤血球	/HPF	糸球体腎炎、腎・尿路腫瘍、腎・尿路結石、膠原病、出血性疾患、生殖器疾患などで増加します。
	白血球	/HPF	細菌、ウイルス、酵母などの感染症や腎炎、ネフローゼ症候群などの疾患で増加します。
	上皮細胞	/HPF	尿路系から剥がれ落ちてくる細胞を調べます。
	円柱	/LPF	ネフローゼ症候群、急性腎疾患や激しい運動後など、腎臓の尿細管腔に一時的な閉塞があったときに検出されます。
	細菌		尿中の細菌の有無を確認します。
便潜血	便潜血定性	(-)	腸管内の出血の有無を調べます。
	便潜血定量	0-99	

検査項目(日本語訳)	基準値	単位	①説明 ②主な病態
総蛋白	6.5-8.2	g/dL	①栄養状態や肝・腎機能の指標に用います。 ②肝硬変、ネフローゼ症候群、脱水症、多発性骨髄腫
ALB(アルブミン)	3.5-5.2	g/dL	①栄養状態や肝障害の程度の指標に用います。 ②脱水、ネフローゼ症候群、重症肝疾患、栄養失調
PreALB(プレアルブミン)	男性:23.0-42.0 女性:22.0-34.0	mg/dL	
尿アルブミン	30未満(CRE補正後)	mg/g・Cr	軽度腎障害の診断に用います。
AST	5-40	U/L	①肝機能の指標に用います。
ALT	3-40	U/L	②肝細胞障害、劇症肝炎、ウイルス性肝炎、薬剤性肝障害、アルコール性肝炎、慢性肝炎、肝癌 肝硬変、閉塞性黄疸
ALP	115-360	U/L	
T.Bil(総ビリルビン)	0.2-1.3	mg/dL	①肝疾患や黄疸の鑑別に有用です。
D.Bil(直接ビリルビン)	0.0-0.5	mg/dL	②肝細胞性黄疸、肝内胆汁うっ滞、溶血性貧血
LDH	120-230	U/L	①ほとんどの組織・臓器に分布する酵素です。 ②溶血性貧血、悪性貧血、心筋梗塞、白血病、悪性腫瘍、急性肝炎、感染症
γ GTP	男性:0-70 女性:0-30	U/L	①肝・胆道系の検査です。 ②アルコール性肝障害、薬剤性肝障害、胆汁うっ滞、急性肝炎、慢性肝炎、肝硬変
ChE(コリンエステラーゼ)	185-431	U/L	①肝疾患の指標に用います。 ②肝障害、有機リン剤による中毒、全身状態の悪化・栄養障害・外科的手術の侵襲、ネフローゼ症候群
アンモニア	15-80	μg/dL	神経毒性を持ち、肝性昏睡の病態把握に有用です。
CK(クレアチンキナーゼ)	30-190	U/L	①骨格筋・心筋・平滑筋・脳などの障害の指標に用います。 ②筋疾患、脳血管障害、心筋梗塞
CK-MB	25未満	IU/L	心筋疾患診断、経過の把握に用います。
AMY(アミラーゼ)	40-129	U/L	①膵障害の指標に用います。
リパーゼ	10-50	IU/L	②急性・慢性膵炎、膵嚢胞、膵癌疾患
UN(尿素窒素)	8.0-20.0	mg/dL	①腎機能の指標に用います。 ②腎不全、火傷、消化管出血など
CRTN(クレアチニン)	男性:0.50-1.00 女性:0.20-0.80	mg/dL	
UA(尿酸)	2.0-7.0	mg/dL	①腎臓から排出される最終代謝産物です。 ②痛風、尿路結石症
Na(ナトリウム)	135-145	mEq/L	電解質バランスの指標に用います。(水に溶けて電気を通すミネラルのイオン。体内の水分量やpHを一定に保ち、神経の伝達や心臓、筋肉を動かすことなどに深くかかわっています。)
K(カリウム)	3.5-4.8	mEq/L	
Cl(クロール)	98-107	mEq/L	
Mg(マグネシウム)	1.9-2.5	mg/dL	
Ca(カルシウム)	8.4-10.4	mg/dL	①副甲状腺ホルモン、ビタミンDなどに調節される骨ミネラルの構成無機物です。 ②原発性副甲状腺機能亢進症・低下症など
IP(無機リン)	2.5-4.5	mg/dL	動脈硬化の指標に用います。
T.Cho(総コレステロール)	130-220	mg/dL	
TG(中性脂肪)	40-170	mg/dL	
HDL-Cho(HDLコレステロール)	40-75	mg/dL	
LDL-Cho(LDLコレステロール)	65-139	mg/dL	
Fe(血清鉄)	男性:60-180 女性:50-160	μg/dL	①貧血の指標に用います。 ②鉄欠乏状態、急激な肝細胞障害、造血能亢進、鉄過剰状態、悪性腫瘍、感染症、造血能低下、腎障害、ネフローゼ症候群
UIBC(不飽和鉄結合能)	男性:100-290 女性:140-430	μg/dL	
KL-6	500未満	U/mL	間質性肺炎の病態把握に有用です。
CRP	0.00-0.30	mg/dL	①炎症の指標に用います。 ②急性炎症、組織崩壊性病変、感染症、膠原病
赤沈60分(赤血球沈降速度)	男性:2-10 女性:3-15	mm	
S-浸透圧(血清浸透圧)	282-297	mOsm/L	①体液恒常性の指標に用います。
尿浸透圧	400-1220	mOsm/L	②脱水や昏睡状態
血糖	70-110	mg/dL	糖尿病の指標に用います。
A1C(ヘモグロビンA1c)	4.6-6.2	%	食事の影響を受けない糖尿病の指標に用います。

生化学

検査項目(日本語訳)		基準値	単位	①説明 ②主な病態
ホルモン	CPR(C-ペプチド)	0.78-5.19	pg/mL	糖尿病の指標に用います。インスリン測定が困難な場合に用います。
	BNP	0.0-18.4	pg/mL	①心疾患の病態把握に有用です。 ②急性・慢性心不全、うっ血性心不全
	トロポニン I	男性:34.2 以下 女性:15.6 以下	pg/mL	心筋障害のマーカーとして用います。
	TSH	0.35-4.94	mU/mL	甲状腺機能の病態把握に有用です。
	F-T4	0.70-1.48	ng/dL	
	F-T3	1.71-3.71	ng/dL	
腫瘍マーカー	AFP定量	0.00-10.00	ng/mL	①肝臓の腫瘍マーカーとして用います。 ②肝細胞癌、肝炎、肝硬変
	CEA	0.00-5.00	ng/mL	①消化器系、肺など様々な臓器由来の癌に出現し、診断補助や治療の経過観察として用います。 ②大腸癌、胃癌、肺癌、転移性肝癌、胆道癌、食道癌
	CA19-9	0.00-37.00	U/mL	膵癌、胆道癌
	HS-PSA	0.000-4.000	ng/mL	前立腺癌、前立腺肥大
	SCC抗原	1.5 以下	ng/mL	子宮頸部、肺、食道、頭頸部、尿路・性器、皮膚などの各扁平上皮癌
	CA-125	0.0-35.0	U/mL	卵巣癌、子宮内膜症
	CA15-3	0.0-28.0	U/mL	乳癌の再発・転移のモニタリングに有用です。
フェリチン	男性:21.8-274.7 女性:4.6-204	ng/mL	体内の貯蔵鉄量の把握や組織の崩壊、炎症性サイトカインの作用の推測に用います。	
免疫	MMP-3	男性:36.9-121.0 女性:17.3-59.7	ng/mL	膠原病・リウマチ疾患の診断と治療経過の把握に有用です。
	抗CCP抗体	4.5 未満	U/mL	
	RF定量	0.0-15.0	IU/mL	
	IgG	870-1700	mg/dL	①さまざまな抗体産生系の異常をきたす疾患の病態把握に有用です。 ②感染症、腫瘍、自己免疫性疾患
	IgA	110-410	mg/dL	
	IgM	男性:33-190 女性:46-260	mg/dL	
補体	C3	65-135	mg/dL	①補体の代表的な2成分でこれらの高低は様々な生物学的活性を促します。 ②リウマチ熱、感染症、急性疾患、悪性腫瘍、慢性・急性腎疾患、菌外毒素ショック、慢性関節リウマチ、DIC、慢性肝障害
	C4	13.0-35.0	mg/dL	
感染症	TPAb定性	(-)	T.U.	梅毒の指標に用います。
	RPR定性	(-)	-	
	RPR定量	0.0-0.5	R.U.	
	HBs抗原	0.00-0.04	IU/mL	B型肝炎ウイルスの検査です。
	HBs抗体	0.00-9.99	mIU/L	
	HBc抗体	0.00-0.99	S/co値	
	HCV抗体	0.00-0.99	S/co値	C型肝炎ウイルスの検査です。
	HIV抗原抗	陰性	-	HIV感染の検査です。
	ASO	0-240	IU/mL	溶連菌感染の検査です。
	β-Dグルカン	<11.0	pg/mL	深在性真菌感染症の検査です。
	プロカルトニン	0.0-0.5	ng/mL	敗血症(細菌性)の検査です。
	マイコ迅速	陰性		肺炎マイコプラズマ感染症の検査です。
	尿中ヒコリ抗体	陰性		胃・十二指腸潰瘍の起炎菌であるヘリコバクターピロリの検査です。
インフルエンザ A B	陰性		インフルエンザウイルスの検査です。	
培養	一般細菌			塗抹、培養、同定、薬剤感受性検査を実施しています。
	抗酸菌			
	迅速検査			

検査項目(日本語訳)	基準値	単位	説明	
血球算定	WBC(白血球数)	3.5-10.0	$\times 10^3/\mu\text{L}$	白血球には、体に細菌やその他の異物が侵入した時、これらと闘う働きがあります。感染、血液疾患などの病態診断・経過の手がかりになります。
	RBC(赤血球数)	男性:4.00-5.60 女性:3.50-5.10	$\times 10^6/\mu\text{L}$	赤血球は、酸素を肺から体の各組織へ運搬する働きがあります。妊娠で減少、脱水や喫煙でやや増加します。
	Hb(ヘモグロビン)	男性:13.0-17.5 女性:11.0-15.0	g/dL	赤血球の中に含まれ、赤血球の酸素運搬の中心的役割を担っています。赤血球数、ヘマトクリット等の値とともに貧血の種類と程度の診断に用います。
	Hct(ヘマトクリット)	男性:39.0-52.5 女性:33.0-45.0	%	血液中に占める赤血球の割合をパーセントで表示したものです。
	MCV(平均赤血球容積)	男性:84.0-100.0 女性:80.0-96.0	fL	赤血球の容積の平均値です。
	MCH (平均赤血球ヘモグロビン量)	27.0-34.0	pg	赤血球の中のヘモグロビン量の平均値です。
	MCHC (平均赤血球ヘモグロビン濃度)	32.0-36.0	%	赤血球の容積に対するヘモグロビン量です。(ヘモグロビン)÷(ヘマトクリット)の式で求めることができます。
	RDW (赤血球粒度分布幅)			赤血球の大きさがだいたいそろっているかがわかります。
	PLT(血小板数)	140-400	$\times 10^3/\mu\text{L}$	血小板は、出血を止める働きがあります。出血傾向や血栓症の診断に必要な検査です。
	MPV(平均血小板容積)			血小板の容積の平均値です。
	Pct(血小板クリット)		%	血液中の血小板の占める割合をパーセントで表示したものです。
	PDW (血小板粒度分布幅)			血小板の大きさがだいたいそろっているかがわかります。
RETI(網赤血球)	0.8-2.2	%	赤血球中の幼若な赤血球の割合をパーセントで表示したものです。貧血などの診断や治療効果判定に用います。	
血液像	Neutro(好中球)	35.0-70.0	%	白血球、赤血球、血小板の大きさや形を検査し、白血球をさらに分類します。感染、炎症、免疫などの状態で好中球、好酸球、好塩基球、単球、リンパ球の割合が変化します。これにより、病態診断の手がかりとなります。
	Eosin(好酸球)	0.0-10.0	%	
	Baso(好塩基球)	0.0-2.0	%	
	Mono(単球)	3.0-11.0	%	
	Lymph(リンパ球)	17.0-50.0	%	
凝固・線溶	PT%(プロトロンビン時間)	70-110	%	血液には出血した際にその出血を止める働きがあります。この働きの一部を調べる検査です。血液が固まるのにかかった秒数から基準値と比較したのが%表示です。他の施設と結果を比較できるように計算した値がINRです。ワーファリンの治療効果の判断にも用います。
	PT	11-12	秒	
	INR	0.85-1.15		
	APTT (活性化部分トロンボプラスチン時間)	25.0-35.0	秒	PTと同様に血液が固まるまでの時間を測定することで、出血したときの血を止める働きの一部を調べる検査です。遺伝性の疾患や肝臓の機能障害の診断に使われます。
	Fib(フィブリノーゲン量)	160-350	mg/dL	フィブリノーゲンは体のなかで何か異常な反応が起こったときにすみやかに作られる物質です。体の中で炎症が起こった時や悪性腫瘍があるときに増加します。また、肝臓の状態が悪い時などで減少します。
	ATⅢ活性	80-130	%	血管内で凝固反応を起こさないようにする物質です。血管内での凝固を阻止するために使われたり、肝臓での産生が少なくなると低値を示します。
	HPT(ヘパプラスチンテスト)	70-130	%	肝臓の機能の一部を調べる時に用います。
	トロンボテスト	70-130	%	ワーファリンの治療効果の判断に用います。
	Dダイマー	0.0-1.0	$\mu\text{g/mL}$	血管内で血液凝固反応が起こると、できた血栓を溶かそうとします。このような状態が起きているかどうかを調べます。増加は血管内で凝固反応が起こったことを示します。
FDP	0.0-10.0	$\mu\text{g/mL}$		
出血時間	1-5	分	皮膚に小さな一定の切り傷をつけ、でてきた血液が自然に止まるまでの時間を測ります。血小板の働きを調べるために用います。	